

PF 活動報告(H29 年度予算、運転スケジュール) PF Activity Report

足立伸一・KEK 物構研

平成 28 年度の PF の活動全般および平成 29 年度の PF の予算状況・運転スケジュール見込について報告する。

【運転関係】平成 28 年度は SuperKEKB の立ち上げ調整運転、および入射器コミッションが進行中であり、PF リングでは原則 1 日 3 回入射での蓄積モード運転を行なっている。PF の平成 28 年度第 3 期のユーザー運転を 2 月 8 日から 3 月 10 日まで実施し、今年度の PF の運転時間は 3432 時間となる見込みである。一方、PF-AR については、6.5GeV 直接入射路の建設工事のため平成 28 年度の第 2 期を停止期間とした。そのため、平成 28 年度の PF-AR の運転時間は 1824 時間となる見込みである。第 3 期（2 月 13 日～3 月 10 日）に直接入射路工事完了後の加速器立ちあげ運転と施設検査を実施する。またこの期間中に、AR の全 BL の調整作業等も並行して行い、平成 28 年 6 月以降しばらく停止していた AR のユーザー運転開始（平成 29 年 4 月～）に備える。

【共同利用】PF および PF-AR の運転経費が減少する一方、大学共同利用の課題申請件数は年間約 400 件、年間の登録論文数は約 600 報であり、共同利用者のアクティビティーは依然高いレベルを保っている。ビームラインにおいては、測定自動化等の工夫を行うことにより、限られたビームタイムでより効率的な測定の実現を目指している。今後、産業利用・優先利用の拡大、外部資金の獲得等により、利用環境の整備と運転時間の確保に努め、さらなる利用研究成果の創出に向けて、創意工夫を実施する。

【H29 年度の予算状況・運転スケジュール見込】平成 29 年度の PF プロジェクトのための運交金は、平成 28 年度から 1.5 億円の減額となり、運転経費の確保は引き続き厳しい状況である。平成 29 年度は、SuperKEKB の Phase II 運転開始に合わせて、約 5 ヶ月間（5～10 月）にわたる入射器の大規模工事を予定しているため、例年に比べてかなり変則的な運転スケジュールとなる。これまで PF では、ゴールデン・ウィーク中のユーザー運転は行なっていなかったが、平成 29 年度については、年間のビームタイムを可能な限り確保するために、連休中にもユーザー運転を行う。特に、4 月 28 日から 5 月 4 日までの間は、孤立バンチの利用が可能なハイブリッド運転モードとなり、トップアップ入射にてユーザー運転を行う予定である。運転スケジュールについては、当日詳しく報告する。